

平成30年度 地域連携活動報告書

協定締結日	2019/3/18	連携先名称	阿見町
活動状況		連携先窓口	
活動資金		担当教員(所属)	秋山聡子(栄養)
活動体制(単位)		関連教員(所属)	
活動内容	<p>地域資源を活用した新商品開発・産地振興事業の一環として、阿見町産のヤーコン、レンコンおよびそば粉を使用した外食向けメニューの開発を行った。</p> <p>外食向けメニューを新たに考案するに当たり、地元住民が重視する点を明らかにすることを目的とし、地元住民および阿見町役場職員を対象に聞き取り調査を行った。その結果、レンコンやヤーコンであると外観からも認識してもらえることが重視されたため、形を残して使用するメニューとして酢豚を調製した。さらに、食べる機会が多いメニューであることも重視されたため、サイドメニューとして様々な料理と提供することが可能である茶碗蒸しを調製した。そば粉を使用するメニューとしては、スイーツとして楽しむことができ、トッピングとして他のデザートに使用できるものが望まれたため、白玉粉とそば粉を混合したそば団子を調製した。酢豚と茶碗蒸しについては、ヤーコンの食経験がほとんどない大学生20名(男性10名、女性10名)を対象に、自由記述式のアンケートを行った。酢豚において、レンコンについて肯定的な意見を記入した者の割合は89%、ヤーコンについて肯定的な意見を記入した割合は84%であった。茶碗蒸しにおいて、レンコンについて肯定的な意見を記入した者の割合は80%、ヤーコンについて肯定的な意見を記入した割合は85%であった。いずれも肯定的な意見が80%を超えていた。</p> <p>開発したメニューについては、2019年2月26日に行われた「あみまち農活フェア」にて試食およびレシピの紹介を行った。さらに、2019年3月16日に行われた「第26回日本健康体力栄養学会大会」にて演題「茨城県阿見町産レンコンとヤーコンを用いた外食向けメニューの開発」を発表した。</p>		
課題・改善点	<p>原価管理を行い、実際に販売できるか、売れる商品であるかの検討を行う必要がある。また、販売する店舗の検討も行う必要がある。</p>		

平成30年度 地域連携活動報告書

協定締結日	2019/3/18	連携先名称	茨城県阿見町																														
活動状況		連携先窓口	東京農業大学																														
活動資金	補助金	担当教員(所属)	望月洋孝(国際食農科学科)																														
活動体制(単位)		関連教員(所属)	秋山聡子(栄養科学科)、小川繁幸(自然資源経営学科)																														
活動内容	<p>人材育成講座では、特に農商工連携6次産業化人材育成講座として、農産加工品の商品開発およびビジネスプラン策定に関する講義、ワークショップを展開した。また、阿見町産のそば、レンコン、ヤーコンを活用し、地域資源の機能を活かした飲食メニューの提案を行っている。一部商品化した商品の販売については、東京農業大学の学園祭での常陸秋そばの試食会および販売やその他の農産物の港区マルシェ販売体験が行われている。</p> <p>大学との共同研究開発としては、土壌学を活かした加工用馬鈴薯の栽培実験、圃場における納豆菌を使用した実証実験が行われている。現地住民との交流については、農林水産省が展開する農業女子プロジェクトに関連して、大学生、地域住民、農業機械メーカーと協働で認定農家の指導による低農薬、無化学肥料、天日干しでの田植え・収穫体験および農学園祭での収穫物販売が行われている。</p>																																
活動成果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>所属課</th> <th>連携事業名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>農業振興課</td> <td>人材育成講座</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>農業振興課</td> <td>6次化新商品開発</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>農業振興課</td> <td>首都圏販売促進</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>農業振興課</td> <td>新飲食メニュー開発</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>農業振興課</td> <td>加工用馬鈴薯の取組み</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>農業振興課</td> <td>納豆菌を使用した実証実験</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>農業振興課</td> <td>阿見町産を活かした商品開発・販売</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>農業振興課</td> <td>農業女子プロジェクト</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>農業振興課</td> <td>都市農村交流事業</td> </tr> </tbody> </table>			No.	所属課	連携事業名	1	農業振興課	人材育成講座	2	農業振興課	6次化新商品開発	3	農業振興課	首都圏販売促進	4	農業振興課	新飲食メニュー開発	5	農業振興課	加工用馬鈴薯の取組み	6	農業振興課	納豆菌を使用した実証実験	7	農業振興課	阿見町産を活かした商品開発・販売	8	農業振興課	農業女子プロジェクト	9	農業振興課	都市農村交流事業
No.	所属課	連携事業名																															
1	農業振興課	人材育成講座																															
2	農業振興課	6次化新商品開発																															
3	農業振興課	首都圏販売促進																															
4	農業振興課	新飲食メニュー開発																															
5	農業振興課	加工用馬鈴薯の取組み																															
6	農業振興課	納豆菌を使用した実証実験																															
7	農業振興課	阿見町産を活かした商品開発・販売																															
8	農業振興課	農業女子プロジェクト																															
9	農業振興課	都市農村交流事業																															
課題・改善点	<p>今年度(締結日:2018年3月18日)より連携事業が本格的にが始まったため、今後の経過を踏まえ、今年度末に報告する。</p>																																

